

2月28日

研究者としてのアイデンティティに根ざし、研究者としての(維持可能な労働条件)を実現しよう

# 人文支部

# 定期総会

## サバティカル取得者の具体化を

### 安心して働き続けられる賃金・労働条件を

2017年度は、「機 能強化」構想がより具体 的にわたる「学部執行部等 的なかたちで全学から示 された、それに対応した諸 問題が噴出する時期とな ると思われるなかで、そ の「全学」自身からおり てくる方針にほんろうさ れ、学部としても適切な 方向性の提起ができない 時期でした。この傾向は 2018年度も継続する と思われる。そのなか

で「舵取りとしての学問」 になう人文学部たるに ふさわしい提起をさせる ためのあり方を、組合と しても考える必要も出て くると思われる。

とりわけ大学執行部の 水準等に鑑みて、教職員 の教育や研究活動への配 慮がなされるような方向 性は、必ずしも期待でき ないなかで、知恵を絞る ための問題提起等も求め

られま す。同時に、将来 にわたる「学部執行部等 をにないうる人材の確保・ 育成」も課題です。

三重大学教職員組合人 文学部支部には、月末の 2月28日に、定期総会を 開催します。学問・研究、 そして大学教育の民主的 発展とわれわれ自身の研 究・教育・労働条件の充実、 そして劣悪化する文教政 策のもとにおいても、維

つとめを 果たすべく、 組合員一人ひとりが、 責任と使命感を持って、 学問・研究・教育・ 労働条件の改善に努め、 大学の発展と社会の進 歩に貢献することを期 します。

## 研究者の「ライフサイクル」での議論から 第11回執行委員会

先週7日、第11回執行委員会を開催しました。

主な議題は今期の総括と来期の方針です。思い返すとこ

の1年、学生アルバイトの紹介時期の早期化、安全保障技 術研究推進制度に対する対応、水道水改善や校舎改修等に 対するとりくみなど、いくつかの大きな成果がありました。

とくに、サバティカル制度の活用の実現に向かって、問題提 起することもできました。来期はこの成果を踏まえて、研 究者としてのアイデンティティに根ざして、研究者として

の「維持可能な労働条件」を実現すべく、みんなで知恵

を絞る時期に入ります。とくに、サバティカル等の活用を 具体化し、教員の研究者としてのライフサイクルを確立し て、研究業績もあげつつ、安心して働き続けられる職場つ くりを進めることが課題です。

研究条件等が劣悪化するなかにおいてもなお、この三重 大学で不屈に研究と教育を継続する——そのためにどうす れば少しでも条件が改善されるのか。そのために賃金労 働条件や研究環境を以下に改善させるのか。そのことをみ んなで模索するとりくみを呼びかけます。

三重大学教職員組合人文学部支部  
2017年度定期総会のご案内  
三重大学教職員組合人文学部支部規約6条に  
基づき、2017年度支部定期総会を開催します。  
記  
日時：2016年2月28日 17:00～  
場所：第1演習室  
議題：総括・方針、規約改正、大会代議員選出  
\*組合員の方はご参集ください。



## 三重大学教職組人文学部支部執行委員会

2018年 2月13日(木) 第207号

津市栗真町屋町1577 三重大学人文学部内

編集・発行人 前田定孝

E-mail:kff02520@nifty.com

# 2大ポイントは 学部長との団体交渉の争点 サバティカル支援と 部局間移動教員の負荷対策

# 雨漏り・壁の滲透水対策も

人文学部支部は19日(月)午後1時から、人文学部の条件改善を求めて、安食学部長と団体交渉を実施します。組合員の人はどなたでもご参加できます。

また地域イノベーション研究科や、さつには伊賀サテライトや医学部・教養教育機構などとの兼任教員が、その兼任先で課せられた仕事と人文学部での元来の仕事が競合することのないように、「指揮命令権者」としての人文学部長にその調整を求めることが中心です。また、有期雇用教職員の無期転換権が完全に保障されるために、人文学部長

が学部内で配慮しつつ、全学的にも発言することなどは、人文学部でとくにこの1年間で増えている非

正規雇用人事について、人文学部の人事政策として、いかなるスタンスで対応するのかについても、あらためて問い合わせています。

## 校舎の安全対策や ブラックバイト対策

ポイントには、教員が研究者として成長していけるためにサバティカル等への支援を強化し、その一環として講義を代替する非常勤講師等の手当をはじめさまざまな措置を講じること、

また、この間人文学部の校舎の改修が概算要求で予算化されなかったことから、その中間的な措置を求めています。とくに、校舎

の外壁から内部に水が浸透してくる問題、あるいは雨漏りなど、事態は深刻かつ切実です。さらには、学内の水質の問題につき、引き続き全学の問題提起してもらう必要があります。

その他、学生に関連する問題でも、この間全学の学生委員会でも課題になっている学生のブラックバイト対策について問題提起した人文学部の学部長として、「へかたち」に仕上げてもらう課題があります。ぜひみなさんご参加ください。

## 団体交渉申入書の主な内容

- (1) 教員の研究条件の確保について
  - ①サバティカル制度等の研究条件の充実
  - ②サバティカル期間等の非常勤講師の手当等
  - ③今後の教員の研究費について
- (2) 他部局との兼任の教員の労働条件
- (3) 教員評価制度について
- (4) 人文学部での労働条件について
  - 教職員の給与・賃金をめぐる課題
  - 雇用の保障について
  - 職員の労働条件について
- (5) 学内施設整備に関して
  - ①「人文学部研究センター」計画のその後
  - ②校舎の雨漏りや壁からの水の滲透対応
  - ③水道水の炭酸カルシウムやケイ酸塩等
- (6) 学部としての学生支援のとりくみ
  - ①授業料について
  - ②学生のブラックバイト問題とその対策
- (7) 軍学共同反対のとりくみについて

**2月19日 13:00 学部長室にて開催**  
**学部長と団体交渉します**